

新しい時代の幕明け 人間らしい暮らし勝ちとる みんなの90国民春闘



愛労連 愛知県労働組合総連合

労働者・国民の要求を結集し、大幅賃上げ、消費税廃止、
「人間らしい生活」の実現をめざそう！

——愛労連90国民春闘方針(抜粋)——
1 重点要求・課題

△大幅賃上げ、全国一律最低賃金制度の確立を△労働時間短縮、残業づけ・使い捨て・過労死をなくし、人間らしい生活を△産業空洞化、人べらし「合理化」・一方的出向・配転に反対△消費税廃止、年金・医療制度改悪反対、臨教審路線にもとづく反動教育反対・複合選抜入試制度の抜本的見直しを△国政革新国民本位の政治の実現を。

2 90国民春闘のたたかい方

三月二十五日に「90国民春闘勝利大集会」を計画します。三月下旬から四月上旬にかけては賃金闘争が集中します。この二つの闘争の成功に焦点をあわせて運動します。要求で団結し、職場を基礎と

した運動を土台に、地域・産業別・広範な労働者・労働組合・県民を結集した「共同」をつくりあげます。そのために△一月は、「要求アンケート」を実施し、要求を組織化します。△二月・三月は、国政革新の重要な時期、消費税廃止をはじめ国民的要求実現のために総選挙のとりくみを重視します。また、大幅賃上げは可能、低額回答は許さないという世論づくりのための宣伝行動を県・地域でとりくみます。△三月・四月は、①引きつづき宣伝行動をおこない②決起集会の開催、大企業・関係官庁への要請行動③ストライキをはじめとする諸闘争④三月二十五日の「総決起集会」の成功へむけ、産別・地域の行動をつみかさねます。



自民党の過半数割れ実現で要求前進の明るい90年代を

総選挙の意義とたたかい。

1 愛労連と総選挙闘争

① 特定政党支持あるいは特定政党排除などはおこなわず、組合員の政党支持・政治活動の自由を保障します。② 政治的中立主義でなく、要求実現の立場から職場での政治論議を活発にし、労働者・国民自らの責任で「政党選択」の判断ができるようにします。

2 自民党独裁政治をストップさせ、90国民春闘を前進させるため

参議院選挙の結果をうけて、参議院でも自民党の過半数割れを實現し、90年代を労働者・国民にとって要求実現の「新しい時代の幕開け」とするための重要な選挙で

す。衆議院でも自民党を過半数割れに追い込めば、消費税の廃止は

もちろん、いのちを削る長時間・過密労働の是正、全国一律最低賃金制の確立、福祉・教育・医療の充実、非核・平和の日本の実現など、労働者国民の要求前進の重要な足がかりができます。大幅賃上げや労働時間短縮をめざす90国民春闘にも大きなはずみとなります。

3、具体的なたたかい

① 全労働者へのアピールの発表、要求宣伝などをつよめます。② 職場・地域で徹底した「対話・討論運動」を展開します。③ 企業や当局による政治活動の抑圧や「ぐるみ選挙」に反対します。

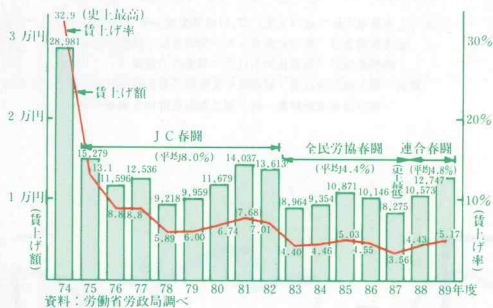
国民春闘再構築

めざす全労連・愛労連

80年代にはいつてから国民春闘の再構築をめざして、政府・財界の賃金抑制策、軍拡・臨調路線などに対決し、大企業の大もうけを労働者・国民に還元させるたたかい、軍事費を削ってくらしと福祉の充実を求めるたたかいがとりくまれてきました。ここには、要求を職場と地域から大衆的に組織すること、一致する要求・課題での共同行動、国民的・政治的課題との結合などの教訓がありました。個々の企業や産業での闘争力の強化とともに、全国的・国民的規模で、社会的な力関係を変えていくたたかいを発展させる全労連・愛労連春闘、ここに春闘勝利の展望があります。

全民労協=連合春闘で低迷する賃上げ

民間主要企業春季賃上げ額(率)推移



春闘の解体すすめる

「連合」

「総合生活改善」と称し、豊かさ、ゆとり」をかけた二年めの一九八九年「連合春闘」は、定昇込み平均五・一一％(二、二五一円)の賃上げで終わり、消費税実施による物価上昇で実質賃金が低下せざるを得ない事態に。これは、日経連の「賃金・時短パッケージ論」に同調し、労働者の要求実現をめざすという労働組合の原点を投げすて、経済整合性論(労働者の要求を基礎にしてではなく、経済と経営が許す範囲で)にもとづく賃金自粛要求をかけた、「総合生活改善」と称して、賃上げ、時短、政策・制度改善のすべての面で労資強調主義を貫いているからです。



教育

全国最低の高校進学率

―複合選抜で専修学校行き

増える―

(愛知の場合)

愛知の高校進学率は、複合選抜実施を前にした1986年から、県教委が用意した91%の收容枠すら割り込んで、90%台になっています。複合選抜の準備、実施の中で中学生が高校から追われ、専修学校進学率は確実に増加しています。

高校進学率の全国平均は九四・

一%で、全国的に、上から富山県は九八・五、山形県九七・三、長野県九六・七と続き、愛知県は、沖縄県九〇・七、宮城県九一・一より低く、九〇・五%となっています。(一九八九年、文部省調べ)

全国最大の定員割れ

―複合選抜のもたらしたもの―

全国最低の高校進学率でありながら、複合選抜の強行によって、'89年春の公立高校入試では全国最大の定員割れが生じました。

全国的にも注目された、複合選抜方式の実施は、一、五〇二人の定員割れ(入学辞退者も含め)を生み出しました。第二次募集をしても九四一名の定員は埋められないままとなりました。

これは、複合選抜方式による受験競争の激化、第一希望優先による玉突現象(これらの不安による早期におけるあきらめの強要)によるものです。

学びたい生徒がおり、校舎も教えたいたまの結果となりました。

全国最低の高校進学率(愛知県)

年	高校進学率	専修学校進学率	無業者
83	90.9	2.5	0.5
84	91.0	2.8	0.5
85	91.0	3.0	0.5
86	90.4	3.7	0.6
87	89.8	4.4	0.6
88	90.4	4.0	0.6
89	90.5	4.8	0.6

中学生の塾通いは更に強まり、補修などもひろがりつつあります。

「わからない」子

「できない」子をつくる

―新学習指導要領の実施―

(小学校92年実施)

昨年三月、学

校教育の内容と

規制する新学習

指導要領が告示

されました。そ

の最大の特徴は

小学校の段階か

ら子どもたちを

選別することを

ねらっているこ

とです。

小学校低学年

から「わからない」子「できない」

子を大量につくろうとしています。

小学校低学年から算数も一層む

つかしくなり、漢字の数も増えて

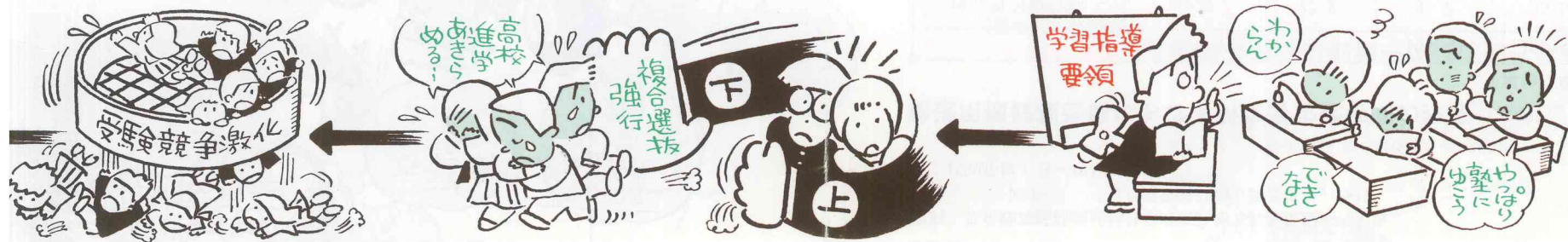
いきます。高校では六年生中等学

校、四年生高校から単位制高校に

まで格差づけされます。

小学校で覚える漢字数

学年	1	2	3	4	5	6	合計
1966年改訂	46	105	187	205	194	144	881
1977年改訂	76	145	195	195	195	190	996
1989年改訂	80	160	200	200	185	181	1006



「お父さん、早く帰って来てください」

——労働時間短縮は子どもの願い——

愛知県における労働時間は、二、一四一時間（年）であり、全国で平均より三十時間長いものです。

ますます長くなる労働時間、さらにきびしくなる過密労働、ひろがる不安定雇用は、働く人々から「お父さん」、「お母さん」の役わり、

地域での主権者としての活動、自由な時間を奪っています。「お父さん、早く帰って来て下さい。」——

これは子どもたちの切なる願いです。父母と一緒に遊ぶこと、父母と

の生活から学ぶこと、父親と息子との人間的葛藤などは、子ども・青年の人格形成の基礎をなします。家庭での父親不在は、子ども・青年にとって深刻な事態をもたらします。

労働時間短縮は、子どもたちにとっても切実な願いなのです。

子育てのネットワークで
父母・住民の願いを
教育行政に。

大型プロジェクト・イベントの愛知県政

国民の最大の要求の一つは、消費税を直ちに廃止せよです。

ところが、鈴木愛知県知事は、「平成二年度、国の施策並びに予算に関する重点要望」で、こともあろうに消費税については、「この新税の定着を図ること」を求めるといった県民世論を無視した態度をとっています。

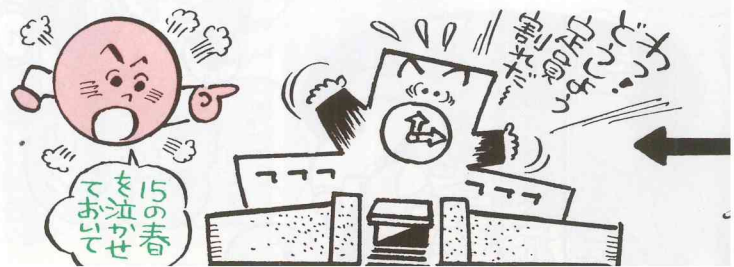
愛知県政は、国がすすめる軍拡のための臨調「行革」を支持し、これをすすめる立場にたっています。

す。県民のいのちとくらしを守る施策はおざなりで、老人問題や労働時間短縮などはキャッチフレーズだけの行政パフォーマンスにわっています。その反面「世界に開かれた魅力ある愛知」をうたいコトバに、大企業のカネもうけを保障する大型プロジェクトやイベントを中部財界と一体となつてつぎからつぎへと打ち出しています。

愛知県がうちだした、平成2年度 国の施策並びに予算に関する重点 要望。

- 1 地方行財政制度の充実について
- 2 税制改革の円滑な実施について
- 3 伊勢湾岸道路、第二東名・名神自動車道等広域幹線道路の整備推進について
- 4 名古屋環状2号線等大都市圏交通網の整備充実について
- 5 中部新国際空港の建設推進について……
- 6 名古屋空港及び空港アクセスの整備充実について
- 7 磁気浮上式リニアモーターカーによる中央新幹線の建設推進について
- 8 瀬戸線の早期開業について
- 9 木曽川水系における水資源開発施設の建設促進について
- 10 豊川水系における水資源開発施設の建設促進について
- 11 長寿科学センター（仮称）等の設置について
- 12 国立航空宇宙研究施設等の立地促進について
- 13 国際博覧会の誘致について

県政

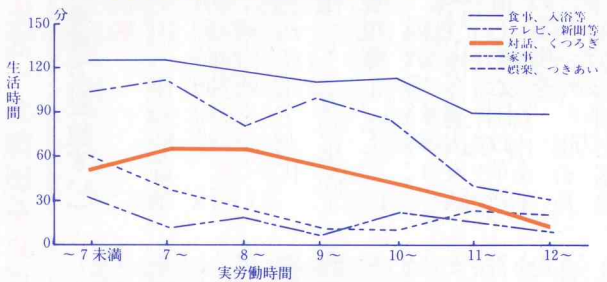


中小企業

健康・過労死

労働時間増大で人間らしさ、健康・いのちが危い

実労働時間と生活時間（男性既婚者：日勤時）



あいち職場の健康問題研究会「労働時間、生活構造、疲労アンケート調査」
(1989年2月～4月)

労働時間

残業日本一の愛知の労働時間 特に長時間労働の自動車産業

労働時間の推移（月間、全産業、30人以上）（単位：時間）

	82～86年平均	1987年	1988年	1989年
総実労働時間	177.4	178.9	178.4	176.3
所定内労働時間	160.4	161.0	159.9	157.6
所定外労働時間	17.0	17.9	18.5	18.7

資料：県企画部統計課「毎月勤労統計地方調査年報」各年版
同上「毎月勤労統計地方調査結果」各月
注：1989年は1月～10月の平均

輸送用機器製造業における所定外労働時間の推移（月間）（単位：時間）

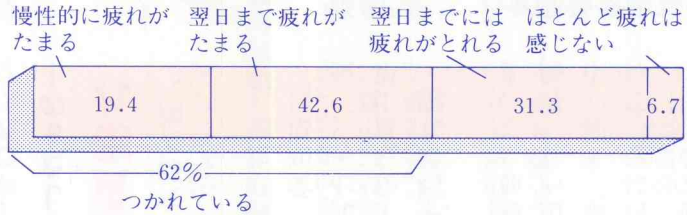
	84～86年平均	1987年	1988年	1989年
所定外労働時間	31.8	27.2	33.7	35.5

資料：県企画部統計課「毎月勤労統計地方調査結果」各月
注：1989年は1月～10月の平均

大企業

超過密労働で慢性疲労の大企業労働者

トヨタ労働者は疲れている



(注) 自動車総連'86意識実態より全トヨタ労連分を集計。
(出所) 「全トヨタ労連」1988年11月号。

仕事がきつくなると訴える出向者

精神的にきつくなった	肉体的にきつくなった	どちらもきつくなった	楽になった	特に感じないその他
20.6%	23.4%	39.4%	7.5%	9.2%

新日鉄名古屋労組「出向組合員意識調査」1989年11月。

組合活動への意見反映 (%)

	よく反映されている。	ある程度反映されている。	あまり反映されていない。	まったく反映されていない。	無回答
1984年	2.0	31.1	47.2	17.4	2.3
1988年	1.2	22.6	53.9	20.2	2.2

「新日鉄労連組合員総合意識調査」1989年。

「過労死二〇番」のまとめ

1、電話相談総件数	2、被災病名、病例等による分類	3、年齢による分類	4、生死別	5、被災者の職種の内訳
191件	(1) 循環器疾患発症例 急性心不全 33件 心筋梗塞 22件 狭心症 1件 動脈細動 1件 脳(内)出血 21件	30歳未満 30件 30～39歳 31件 40～44歳 37件 45～49歳 40件 50～54歳 26件 55～59歳 10件 60歳以上 10件	死亡 101件 生存 87件	会社経営者、役員、自営業 12件 営業・事務の一般職 21件 技術の一般職 15件 建設労働者 12件 土木労働者 11件 工場労働者 35件 運転手 17件 その他 21件
113件	(6) くも膜下出血 25件 (7) 脳梗塞、脳血栓 2件 (8) 脳溢血、脳卒中 1件 脳腫瘍 1件	21～29歳 13件 30～39歳 41件	不明 11件	

